

主体的に挑戦し続けることで、生徒がどんどん成長 星城中の「音楽部」はどのように成長したか!?

左から／富田乃依さん(中3・チェロ)、宮本奏さん(中2・チェロ)、瀧友理華さん(中2・バイオリン)、蓮池航英さん(中3・チェロ)。音楽部は週1回活動しています。※取材時の学年です。



星城中学校

ADDRESS

〒470-1161
愛知県豊明市栄町新左山20

TEL

0562-97-3121(代)

ACCESS

最寄駅／名鉄名古屋本線「前後」駅より徒歩15分

多くの生徒は弦楽器初心者 音楽部の挑戦が始まった

学年全体でオーケストラを編成して海外研修で披露するなど、星城中学校は器楽教育にも力を入れています。しかし、弦楽器の経験で言えばほとんどの生徒が初心者。そんな状況でも、弦楽器を中心にした音楽部が成長した秘密はどこにあるのでしょうか。

富田乃依さん(取材時・中3)が入学したとき、音楽部の部員はわずか3人でした。新任の顧問・吉川重輝先生と話し、「新・音楽部」としていろいろ挑戦できそう」と感じて入部を決意。吉川先生は「生徒の『演奏会を開きたい』という思いを音楽部の目標に掲げました」とふり返ります。そんな音楽部の初舞台は、その年の文化祭でした。「僕らの演奏を聴いて、3人の先輩が入部してくれたことがうれしかった。未来への一歩になりました」と、富田さんは自分たちの目標に近づけた手応えを感じたようでした。その半年後には、手応えが現実になります。新たなメンバーで、第1回演奏会「音のある世界」を知立市にて開催することができました。

音楽部の挑戦2年目は、「部員数の拡大」です。新入生部員を確保しようと、新入生歓迎演奏会を計画しました。「先輩たちの演奏を聴いて、カッコイイと



演奏会「音のある世界」は、公共施設へのチラシ設置依頼やパンフレットづくりも生徒が担当。主体的に活動する場面が多いのも星城中の特徴のひとつです。

思い入部しました」と、瀧友理華さんと宮本奏さん(取材時・いずれも中2)。また、この演奏会を見ていた蓮池航英さん(取材時・中3)は、富田さんに入部を誘われたことで入部を決めました。この演奏会のおかげで、部員数は20名近くに増えました。部員数が増えたことで音楽部の挑戦はさらに広がり、外部の音楽会やコンクールへの参加も果たしました。

挑戦し続けることの大切さ そこに生徒の成長がある

3年目。生徒の主体的な活動が目立つようになります。オープンスクールの際に、「どうやって参加者をお迎えするか」を考え、ウェルカム演奏を始めました。また、第3回定期演奏会では、曲の選定や会場との打ち合わせ、パンフレットの制作まで、生徒の手で行われました。宮本さんは「部を進化させてき

た3年生との最後の演奏。うまく受け継げるのか不安になった」と、先輩から引き継ぐバトンの重さを感じていました。また蓮池さんは「相手の視点に立って明快地伝える力が成長しました」と、音楽以外での自分の成長をふり返りました。「バイオリンを買ってくれて、家でも練習ができるようになりました」と瀧さん。器楽購入や会場への送迎など、家族の支えがあったこと。それに対して4人は、「月並みの言葉ですが、感謝です」と声をそろえます。

生徒が自ら目標をもち、課題を見つめながら挑戦し続け、生徒が成長していく力が育まれる。そんな星城中の実践が垣間見られたようでした。

INFORMATION

■第1回オープンスクール

6月21日(土) 授業体験、個別相談、生徒とのQ&Aほか

■第2回オープンスクール

8月30日(土) 個別相談、生徒とのQ&Aほか

■第3回オープンスクール

9月27日(土) 個別相談、生徒とのQ&Aほか

■第4回オープンスクール

11月1日(土) 授業体験、生徒とのQ&Aほか